

平成29年度京都市いきいき市民活動センターに係る管理運営についての評価報告

平成30年9月
京都市市民活動センター評価委員会

平成29年度における京都市いきいき市民活動センターの管理運営に関し、下記のとおり評価を取りまとめたので公表する。

記

1 評価に当たって

(1) 評価委員会の設置目的

京都市市民活動センター評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、京都市が設置した機関であり、京都市市民活動総合センター及び京都市いきいき市民活動センターの管理運営全般に関し、各種事業の実績等に基づいて客観的な評価を行い、課題の解決や改善すべき事項についての助言を行うことを目的の一つにしている。

当評価委員会は、平成15年度から京都市市民活動総合センターの施設運営全般についての評価を行ってきたが、平成23年4月に京都市いきいき市民活動センターが開所されたことに伴い、評価機能を京都市いきいき市民活動センターまで拡充するとともに名称を改めたものである。

(2) 京都市いきいき市民活動センターの役割

京都市いきいき市民活動センターは、市民公益活動はもとより、サークル活動など市民活動を幅広く支援していくため、既設の京都市市民活動総合センターを補完し、市民がいきいきと活動できる場所と機会を提供する施設として、平成23年4月に設置されたものである。

京都市いきいき市民活動センターでは、貸館の提供や市民活動の活性化に資する情報の提供を行うほか、地域や市民活動を活性化させるための仕掛けとして、指定管理者が独自にこれらに資する事業を企画・実施することとしている。

この市民活動活性化事業の対象となるものは、

- ・市民活動又は地域コミュニティの活性化を図るための事業
- ・市民活動を支援するための各種講座や研修会等

としており（市民活動活性化事業実施要綱第7条第1項）、

企画・実施については、可能な限り、地域や利用者等からの意見を取り入れながら行うものとし、将来的には企画段階から地域や利用者等の参加を促進する等、協働の取組により進めるものとしている（市民活動活性化事業実施要綱第4条第2項）。

(3) 評価について

ア 評価の基準

平成27～30年度の第2期指定管理期間の3年目となる平成29年度の各センターの活動について、「市民活動活性化事業」の取組内容に関する評価を行うとともに、センター運営に関して、「貸館事業」、「情報の発信」、「業務執行体制」に関する評価を行う。

評価項目	主な着眼点
市民活動活性化事業	○計画の具体性及び独創性 ○幅広い市民の交流を目的として、広く市民の参加が得られるよう努めているか。 ○地域、利用者及びNPOなど他団体との連携 ○事業の広報方法 ○利用者ニーズの把握及び次回事業への反映の方法
貸館事業	○貸館業務を適正に行っているか。 ○公金収納業務を適正に行っているか。
情報の発信	○情報の発信を積極的に行っているか。
業務執行体制	○施設の維持管理を適正に行っているか。 ○職員配置の適正性及び人材育成等 ○管理運営業務に係る経費の取扱い

イ 評価の参考とした資料等

① 市民活動活性化事業

計画された全事業を対象として、平成30年度第1回及び第2回評価委員会での各指定管理者の報告内容、事業実施計画書及び事業実施報告書を基に評価する。

② 貸館事業

京都市が実施した業務及び財務監査内容、実績報告書を基に評価する。

③ 情報の発信

実績報告書を基に評価する。

④ 業務執行体制

京都市が実施した業務及び財務監査内容を基に評価する。

なお、評価については、監査時点での業務執行に係るものである。

ウ 評価方法

各センターの評価に当たり、施設規模、地勢、交通利便性、人口構成、歴史的経過等の立地条件や指定管理者の特長等、施設管理運営上の条件がそれぞれ多様であることから、評価委員会による一律の評価軸で評価を行うことは困難であると判断し、センターごとに、評価項目について、文章による記述の評価を行う。

評価については、平成28年度評価を受けて29年度にどのように進展したかという点を踏まえ、センター運営の質の向上につながることを主眼に、評価できる事項、課題となる事項などについて意見を付すこととした。

また、現指定管理期間の最後の年となる今後約1年間の更なる取組の発展に向けて、各センターに対して、「平成30年度に向けた助言等」について記載した。

2 各センターの評価

(1) 北いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人くらしネット21）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつりを地域の住民，市民活動団体やセンターの利用者，地域内外の団体に企画の段階から関わってもらおうよう呼びかけ，当日の参加だけでなく運営にも携わってもらえていることは，「市民の主體的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。 ・事業を行うにあたり，大学生などの若者と連携していることやスタッフの人脈，特性を活かした新たな事業を展開している。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については，様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことにより，前年度と比較し増加している。 ・利用者満足度は，来館者に対する窓口サービス調査の結果，概ね良好である。 ・公金収納業務については，会計検査等で若干の不備が指摘されたため，指摘事項を踏まえて改善に努めてほしい。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ，フェイスブック，ツイッターに加えて，プレスリリースを行いマスコミへの掲載，ラジオ出演を行うと共に，今年度から新たにニュースレターを発行するなど，多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置基準については，概ね問題なく行われている。 ・収支状況については，必要に応じた施設の修繕を適切に行うなど，管理運営業務の執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般

- ・昨年度に指摘のあった大学との連携強化や事業費の見直しを行い，事業が展開されたことは評価できる。特に，事業の見直しを行ったうえ，今後の事業へ波及効果を生み出す取組を行ったことは評価できる。
- ・地域資源を生かし，地域の方やセンターの利用者，様々な団体と積極的に交流・連携し，より多くの人を巻き込んで事業を展開していこうという姿勢は評価できる。引き続き，地域のイベントが，自立的，継続的に運営できるよう，幅広い団体との交流・連携に努め，より広い範囲から人を呼び込めるような事業を進めていただきたい。

②施設管理等

- ・利用者の声を聞き，施設改善を行うなど，利用者の立場に立った施設管理ができています。
- ・情報の発信については，ホームページやSNSだけでなく，プレスリリースを行いマスコミへの掲載，ラジオ出演のほか，新たにニュースレターを発行するなど多様な媒体を活用し，より広域的に情報を発信する取組は評価できる。

(2) 岡崎いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人音の風）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の得意分野及び専門分野である音楽を活かした事業だけでなく、市民活動のためのチラシづくりや写真講座、利用者団体の紹介など、市民活動を支援する事業を展開していることは、「市民の主体的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。 ・市民活動活性化事業を行うにあたり、各種団体との連携やセンター利用者や地域の方と協働して事業を展開していることは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信やきめ細やかな電話対応等に努めたことにより、前年度と比較し増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、ツイッターだけでなく、京都新聞「まちかど」や市民しんぶん区版にあげるなど多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。 ・二条通りに面したフェンスの掲示・配架用ボードやチラシのラックの設置に加え、隣のちびっこ広場に掲示板を設置し、通行する市民や観光客に向けてセンターや地域の情報発信を行っている。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性活動活性化事業において、チラシ作成の方法や利用団体の紹介など市民の活動を支援する事業を展開していることは評価できる。岡崎いきセンのこれまで培ってきたノウハウを他のいきセンと積極的に情報交換、共有し、良い影響が伝わっていくことを期待している。 ・センター利用者などからの相談をきっかけに助言、手助けを行うことで、市民公益活動に発展させる取組みを行うなど、今後も市民活動の担い手が主体的に活動できるように支援を継続していただきたい。 ・音楽を軸とした事業だけでなく、高齢化など地域の課題に目を向けた取組が行われることも期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、ホームページやSNSでの情報発信、更新頻度及びデザイン性が高く、常に最新の情報提供が行われているだけでなく、京都新聞「まちかど」・市民しんぶんなどの紙媒体での発信やチラシラック・掲示板の設置などより広域的に情報を発信しようという取組は評価できる。
--

(3) 左京東部いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人劇研）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに「障害者」を対象した事業が展開されており、より積極的に事業を展開しようと努めていることは評価できる。 ・昨年度に続き盆踊り大会を地域の各種団体と連携して取組を進め、年齢や国籍、地域を越えて多数の参加者を集めて開催され、多世代交流、地域内外の交流を深められたことは、市民活動活性化事業の趣旨に合致している。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことにより、前年度と比較し増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやフェイスブック、ホームページを充実させるとともに、「いきいき通信」の発行や新聞への掲載など多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続している高齢者向け事業について、左京西部だけでなく、大学とも連携して事業を展開していこうという姿勢は評価できるが、事業を行うにあたり、高齢者が主体となって行う事業の実施を期待する。 ・事業を進める中で、人材の育成にも引き続き積極的に取り組んでいただきたい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、フェイスブックやホームページだけでなく、「いきいき通信」の発行や新聞等マスコミへの掲載など、などより広域的に情報を発信しようという取組は評価できる。
--

(4) 左京西部いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人劇研）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・長らく開催されていなかったお祭りを地域の各種団体と連携して取組を進める中で、他の事業で関わりのあった大学生などにも積極的に参加していただくなど、地域だけでなく多角的な広がりを持たせたことは評価できる。 ・例年取り組んでいる高齢者向け事業を新しく展開していこうとしている姿勢は評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことにより、前年度と比較し増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレット、広報誌「いきいき通信」、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左京東部と連携した事業に加え、地域の特性を活かした左京西部ならではの事業プログラムの実施を期待する。 ・地域の特性に合わせた高齢者を対象にした事業などの展開は評価できるが、いきいき市民活動センターの市民活動支援という視点を取り入れた事業の実施も進めていただきたい。 ・指定管理者が主導的に事業を行うだけでなく、市民活動団体を育てることや支援を強化していただくとともに他のいきいき市民活動センターとの交流も進めていただきたい。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、フェイスブックやツイッターでの情報発信や広報誌も定期的に発行するとともに、ホームページにも掲載しており、今後も継続した取組を期待する。
--

(5) 中京いきいき市民活動センター（指定管理者：一般財団法人京都府部落解放推進協会）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・地域住民，地域団体，センター利用者，近隣の高校など様々な方々と交流・連携しながら，事業が行われていることは，「市民の主体的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。・従来の事業だけでなく，利用者の少なかったサロンを活用して新たに「いきいきカフェ」事業を展開するなど，より積極的に事業を展開しようと努めていることは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については，前年度と比較し増加している。・利用者の満足度は，来館者に対する窓口サービス調査の結果，概ね良好であるが，アンケート結果の分析を行い，来館者の満足度向上に努めていただきたい。・公金収納業務については，会計検査等で若干の不備は指摘したが，概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理については，日常的な点検にも努めていただきたい。・職員の配置については，概ね問題なく行われている。・収支状況については，管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・活性化事業を実施するにあたり，これまでから地域の各種団体と交流・連携しているが，今後はより広域的に多くの人を巻き込んで事業が展開され，発表の場としての視点のみではなく，これまでの交流や親睦を生かし，ゆくゆくは参加団体だけで事業が行えるように事業強化されることを期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・貸館事業については，幅広い周知に努めるとともに，応対などの工夫により利用件数の増加に力を入れていただきたい。・情報の発信については，チラシやポスター，ホームページなどによって発信されているが，今後は SNS などより多様な媒体を活用して最新の情報をより広い地域に向けて発信することを期待する。
--

(6) 東山いきいき市民活動センター（指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・メディアの活用やワークショップ形式など、ユニークな事業を展開しながら、地域の課題にも目を向け、周辺地域の実情把握などの事業にも取り組まれるなど、市民活動活性化事業の趣旨に合致した多彩な事業を実施されている。・昨年度の指摘事項を踏まえ、多様な世代を巻き込んで事業をおこなったことは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことより、前年度に比べ、大幅に増加している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットやホームページ、SNS、「京都リビング」、「京都新聞」への掲示など多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・市民活動活性化事業だけでなく、さまざまな事業・業務を通して地域や利用者の方と協働・連携し、市民活動を支援する取り組みをしていることは評価できる。・得意分野であるメディアを活かし、制作だけでなく周知にも重点をおき、幅広い層を巻き込みながら、地域の活性化を図るとともに、その他の分野においても地域活性化にむけた取組・事業が行われることを期待している。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・助成金相談に乗るなど、市民活動総合センターのブランチとしての機能を果たしており、市民活動への関心層を掘り起こしていることは評価できる。・貸館業務については、前年度に比べ増加したが、交通の利便性が非常に高く、市内一円からの利用が見込まれる場所に立地しており、市民の利用ニーズは高いと思われるので、引き続き新規利用団体の開拓等、利用件数の増加に力を入れていただきたい。・情報の発信については、フェイスブックやツイッターの情報発信により、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。また地域課題にも目を向け、高齢者層を含めた幅広い層に市民活動活性化事業への参加を促す広報の仕方やアプローチなど、より効果的な情報発信に期待する。

(7) 下京いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人崇仁まちづくりの会）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	・活性化事業を行うにあたり、センター利用者や地域団体、下京青少年活動センター、移転を控えた市立芸術大学の学生と協力・連携して取組を行っていることは評価できる。
貸館事業	・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことにより、前年度と比較し増加している。 ・利用者の満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好であるが、改善の余地がある。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	・施設案内パンフレットやホームページ、チラシなどを活用し、情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・京都駅の近くという立地条件を活かし、地元だけの事業でなく、市民活動支援を行ういきいき市民活動センターとしてより広い視野、新しい発想を持った事業が展開されることを期待する。・市立芸術大学の移転が計画されていることから、大学生を含めた若者のアイデアを取り入れた取組にも期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・貸館事業については、立地の良さを活かし、効果的な情報提供や利用案内などを工夫し、利用件数の増加にも努めていただきたい。・情報の発信については、多様な媒体を活用して最新の情報を発信されることを期待する。また、市民活動活性化事業への参加を促す広報の仕方において、市立芸術大学生のアイデアを取り入れるなどチラシやポスターの刷新を行い、より効果的な情報発信に期待する。

(8) 吉祥院いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人ふれあい吉祥院ネットワーク）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・活性化事業を行うにあたり、センター利用団体や地域団体と協力・連携しながら、事業が行われていることは評価できる。 ・事業を通じて、参加者・団体同士の連携や交流が生まれているという取組は、「市民の主体的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、前年度と比較し僅かながら減少しているため、原因の分析等を行い、利用件数の増加に努めていただきたい。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ、SNS、広報誌「いきセンだより」を活用し、情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業集客のためにわかりやすいチラシを作成していることは評価できるが、今後、事業を実施するにあたり、これまで実施してきた事業を踏まえながら、より多様な団体と連携し、新しい参加者や担い手の発掘を促すような形で事業が展開されることを期待している。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業については、部屋数が少ないというハンデもあるが、事業に参加した人への利用を促したり、活動団体への周知を行うなど、利用件数の増加にも力を入れていただきたい。 ・情報の発信については、ホームページやSNS、広報誌で情報発信されているが、今後もより多様な媒体を活用し、周知先の検討を行うなど広域的に情報が発信されることを期待している。

(9) 上鳥羽北部いきいき市民活動センター（指定管理者：京都市中唐戸児童館運営委員会）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の取組に加え、新たに「上鳥羽春まちフェスタ」と「いきいき上鳥羽プロジェクト」を実施するなど事業に広がりが見られる。特に上鳥羽南部と合同で実施された「上鳥羽春まちフェスタ」において、センター同士が協力・連携して事業を実施したことは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知や集客活動に努めたことより、前年度に比べ、大幅に増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、広報誌「ニュースレター」、市民しんぶんへの掲載など多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の児童館や地元の方、団体と企画段階から連携し、幅広い活動が出てきたことは評価でき、今後は地域の担い手を作るための事業の実施や市民活動団体の支援、育成に期待する。 ・上鳥羽南部と協力及び連携して新たな事業が展開されたことは評価できる。今後は、上鳥羽学区だけでなく、他の南区のいきセンともネットワークを構築するなどより広域的に事業が展開されていくことを期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、ホームページやフェイスブック、広報誌「ニュースレター」、市民しんぶんへの掲載など多様な媒体を活用していることは評価でき、今後もより広域的に情報が発信されることを期待している。 ・貸館事業については、立地や交通の便がよくない中で、地道な取組により利用件数を増やしていることは評価できる。
--

(10) 上鳥羽南部いきいき市民活動センター（指定管理者：株式会社丸起）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の取組に加え、新たに「上鳥羽南部秋のサークル交流会」や「上鳥羽南部ふれあいサロン WAIWAI 広場」、「上鳥羽春まちフェスタ」を実施するなど事業に広がりが見られる。特に上鳥羽北部と合同で実施された「上鳥羽春まちフェスタ」において、センター同士が協力・連携して事業を実施したことは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、区役所や青少年活動センターと連携し、事業の参加者を広く募集することに努めた結果、事業参加を契機に貸館でセンターを利用する団体も増え、前年度に比べ、大幅に増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブックによる情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上鳥羽北部と協力・連携して新たな事業が展開されたことは評価できる。今後は、南区にある4つのいきいき市民活動センターと連携を行うなど、より広域的に事業が展開されていくことを期待する。 ・事業を行うにあたり、センター利用者からアイデアを出してもらうなど、企画段階からの連携を期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、チラシなど多様な媒体を活用していることは評価でき、今後はセンター利用者や事業参加者の属性に合わせた告知をするなど、情報発信の方法が工夫されることを期待している。
--

(11) 久世いきいき市民活動センター（指定管理者：地域環境整備みどりの会）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	・交通利便性等立地条件に制約がある中で、センター利用者・団体や近隣の児童館・保育所等と連携し、事業を実施したことは評価できる。
貸館事業	・施設の利用件数については、情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことにより、前年度と比較し増加しているが、利用が少ない部屋や時間帯について、集客のための広報を積極的に行っていたきたい。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力をより高める分野への経費執行にも期待したい。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・保育所や児童館との連携により子ども達の参加する事業を行っているが、その保護者である若い世代を積極的に巻き込み、連携し、事業を実施することを期待する。・今後は、南区にある4つのいきいき市民活動センターをはじめとする他のいきいき市民活動センターと連携を行うなど、より広域的に事業が展開されていくことを期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・交通利便性等の立地条件に制約はあるが、利用件数増加のため、ホームページだけでなく、利用者を巻き込んだSNSの活用促進など、多様な媒体を使い、センターの認知向上に努めていただきたい。
--

(12) 醍醐いきいき市民活動センター（指定管理者：株式会社ワン・ワールド）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none">・センター利用者・団体や地域住民を巻き込んで、企画段階から事業を実施していることは、評価でき、市民活動を支援するというセンターの趣旨に合致している。・活性化事業を通して、地域の魅力を発見するために、実際に足を運ぶなど、積極的に地域資源を掘り起こそうという姿勢は評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none">・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことにより、前年度と比較し増加している。・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none">・施設案内パンフレットや広報誌「だいごいきいきタイムズ」、ホームページ、フェイスブックだけでなく、京都リビングやラジオなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理及び職員の配置については、概ね問題なく行われている。・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none">・センター利用者の発表の場を提供するといった事業だけでなく、利用者の行いたいことを後方から支援している取組は評価できる。・サロンを活用し、安定して行われている従来からの事業と「地域フィールドワークプロジェクト」などの新しい事業が展開されており、他のセンターのモデルになりうる取組がされている。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none">・情報の発信については、多様な媒体により発信されており、特にホームページやフェイスブックでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、今後も継続した取組を期待する。
--

(13) 伏見いきいき市民活動センター（指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所）

ア 平成29年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若者、高齢者などを対象とした幅広い事業が展開されており、高齢者の孤独化や子どもの貧困問題など、地域の課題に対して積極的に取り組んでいることは評価できる。 ・事業実施に当たっては、市民の主体的な活動を後方から支援するというセンターの本来の役割を意識して取組を進めていることは評価できる。
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や青少年活動センターとの連携、市民活動に役立つ情報の提供を行ったことにより、前年度と比較し増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、ツイッター、掲示板の設置など、情報の受け手に合わせた多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成30年度に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や区役所、地域団体と連携を図りながら、地域が抱える課題やセンター利用者の行いたいことを後方から支援する取組が進められており、今後も地域を支える取組を進めていただきながら、地域活動の担い手を育てることにも期待する。 <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の発信については、多様な媒体により発信されており、特にフェイスブックやツイッターでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。
--

3 まとめ

(1) 施設の利用状況について

いきいき市民活動センター（以下「センター」という。）は、平成23年度の開設から7年目となり、この間、各センターでは、施設案内パンフレットやホームページ、各種SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報の発信、市民活動に資する情報の提供、市民活動活性化事業の実施など、指定管理者の特長や地域性に応じた独自の活動に積極的に取り組んできた。

その結果、貸館利用件数は、開設以来、年々増加しており、平成29年度の件数は、センター転用前の平成22年度と比較すると、約4倍と大幅に増加している。

これは、市民活動やコミュニティ活動の場を求めている市民ニーズとセンターの設置趣旨が合致したこと、また、センターが市民活動の拠点となる施設として多くの利用者から認知されつつある結果であり、市民活動を幅広く支援していくという当初の目的は達成できつつあると考えられる。

ただし、増加率は少しずつ減少してきており、センターの中には利用件数が減少しているところもある。このことからセンターとして、新たな展開が必要な時期に差し掛かっていると考えられるため、今後は、従来行ってきた情報発信や市民活動活性化事業の見直しを行いながら、より積極的な事業が展開されることを期待している。また、利用件数の増加に向けて、比較的利用が少ない部屋や曜日、時間帯の利用を促進するなど、効率的な稼働ができるよう、新たな層やニーズを発掘する試みにも努めてもらいたい。

(2) 管理運営全般に対する評価及び助言について

各センターにおいては、「2 各センターの評価」のとおり、各センターが継続して発展していくための改善や工夫・充実を期待する。

第2期指定管理期間の3年目となる平成29年度は、近隣のセンター同士で合同で事業を実施するなど、各センター同士の連携がより深まった。

平成30年度は指定管理期間の最終年度となるので、これまで培ってきたノウハウや人脈等、指定管理者の特長を最大限に活用し、引き続き、利用者のニーズや地域の実情把握等に努めながら、施設のコンセプトである地域や施設利用者との「交流」・「協働」を通じ、それぞれが特色ある施設へと更に「進化」することを目指し、以下の項目について重点的に取り組んでいただきたい。

ア 全般について

各センターの取組について、地域住民に対するサービスの提供にとどまるのではなく、「市民の主体的な活動を支援する」ことがセンターの役割であることを常に念頭に置きながら、各センターの強みを生かし、それぞれが抱える地域の課題解決に向けた事業の実施や施設の管理運営に臨んでいただきたい。

また、各センターが地域とつながり、交流・協働の取組を行っていくうえで、市民の身近な存在である区役所・支所との連携が、地域ニーズの把握や課題の解決にも結び付くことから、今後は、区役所・支所、まちづくりアドバイザーとの連携についても積極的に進めていただきたい。

イ 市民活動活性化事業について

市民活動の更なる活性化に向けて、次の5点に留意し取り組んでいただきたい。

- ① 事業の実施に当たり、企画段階から、センター利用者、地域の各種団体、事業所、NPO、大学、区役所・支所等の他団体との連携を図るなど、各センターが得意分野を軸としながら、多様な団体とのネットワークを構築することで、市民活動の基盤や土壌を広げていくことを期待する。
- ② 各センターや市民活動総合センターとの交流・連携を更に積極的に進め、事業を実施するうえでの経験や知識の共有を図ることにより、新たな視点からの事業の展開や事業の質の向上、人材の育成などに取り組んでいただくことを期待する。
- ③ 例年実施する大規模なイベントについても、イベント当日に多くの参加者を得るだけでなく、参加者同士の新たなつながりや、そこから自主的な市民活動につながっていくような展開を意識した「育成」や「支援」の取組、新しい担い手づくりの育成を意識した後方支援的な取組を進めていただきたい。
- ④ 事業の実施後は、参加者アンケートや振り返りを行い、利用者ニーズの把握や効果的な事業の実施につながるようにしていただきたい。
- ⑤ 活動団体に発表の場を提供するだけにとどまるのではなく、地域の実情や課題を把握し、解決に向けて、地域の担い手や人材の発掘、育成並びに活動団体への後方支援などに力を入れていただきたい。

ウ 情報の発信について

施設案内パンフレット及びホームページによる情報発信だけでなく、広報誌、掲示板、回覧板、各種SNSなど多様な媒体を積極的に活用することで、より多くの方に情報が届くよう努めるとともに、発信内容についても、更新頻度を高めていただき、常に最新の情報を提供することを心掛けていただきたい。

チラシやポスターなど印刷物の作成にあたっては、みやこユニバーサルデザイン等を参考に、誰にでも見やすい印刷物にするとともに、デザインの工夫をすることも心掛けていただきたい。また、事業を実施するにあたっては、それぞれの事業のターゲット層に合わせるために、情報の受け手の立場に立ち、発信の仕方を変えるなど、より効果的な情報発信を行っていただきたい。

エ 業務執行体制について

業務及び財務監査の指摘を踏まえ、特に次の2点について確実な実施を求めるものである。

- ① 公金収納業務については、概ね適正に行われているが、処理のミスが一部見受けられ、特に同じようなミスが多いため、今一度マニュアル等を確認し、複数による照合をするなど、丁寧・確実な処理に努めていただきたい。
- ② 職員の配置については、概ね問題なく行われているが、引き続き、執行体制の遵守を徹底していただきたい。

また、指定管理者は、施設管理運営の適格性があるものとして選定されていることを自覚のうえ、協定・仕様書を遵守し、必要な改善を行い、遺漏のないよう確実に取り組んでいただきたい。

なお、京都市は、今後も継続して監査を実施し、適正な業務や管理が維持されるよう指導していく必要がある。

オ その他

環境への負荷の少ない持続可能なまち「環境共生型都市・京都」の実現に向けて取り組んでいる京都市の地域における最前線の公の施設として、各センターの管理運営に当たっては、エネルギー使用の削減や環境配慮品の購入、ごみの減量・リサイクルの推進など、環境に配慮した取組を積極的に推進していただきたい。

また、イベント等の開催に当たっては、京都市の「エコイベント」として登録して実施するように努めていただきたい。

4 評価委員

吉田 忠彦（近畿大学経営学部経営学科教授）＜委員長＞

中井 歩（京都産業大学法学部教授）＜副委員長＞

伊豆田 千加（特定非営利活動法人子育ては親育て・みのりのもり劇場理事長）

鈴木 ちよ（市民公募委員）

重野 亜久里（特定非営利活動法人多文化共生センターきょうと代表）

土江田 雅史（公認会計士）

5 開催経過

（1）平成30年度第1回

日 時 平成30年6月6日（水）

場 所 東山いきいき市民活動センター

内 容 平成29年度いきいき市民活動センター市民活動活性化事業の報告

（2）平成30年度第2回

日 時 平成30年6月15日（金）

場 所 京都市市民活動総合センター

内 容 平成29年度いきいき市民活動センター市民活動活性化事業の報告

平成29年度市民活動総合センターの事業報告

平成29年度いきいき市民活動センター評価報告案の検討

（3）平成30年度第3回

日 時 平成30年7月17日（火）

場 所 職員会館かもがわ

内 容 平成29年度いきいき市民活動センター評価報告案の検討

平成29年度市民活動総合センター評価報告案の検討

市民活動センター次期指定候補者の選定に係る募集要項の検討

＜参 考＞ 平成29年度市民活動活性化事業一覧

センター	事業	内容
北	高齢者ふれあいサロン 活性化プロジェクト	市民活動団体等と連携し、高齢者ふれあいサロンが多世代交流や居場所、生きがいをづくりの空間となることを目指し、サロンの活用方法を考えるワークショップを実施する。また、ワークショップで出されたアイデアを基に、市民が企画する事業を実施する。
	楽し夏まつり2017	地域団体や利用団体、NPO、大学等様々な団体に呼びかけ、共同で企画・実施する夏まつりを開催することで、学区内外の交流を促進し、活気ある地域づくりに繋げる。今年度は、伝統的な盆踊りを現代風にアレンジを加え、祭りの中心にすることで、地域の伝統や郷土愛を共有する。
	市民活動交流会～考えてみませんか？地域の こと、未来のこと～	センター周辺や他地域で街づくりや福祉、教育、人権などに取り組む市民活動団体や市民が集い、地域課題や解決事例等を学びながら、意見を出し合う会を開催する。
	まるをあつめてカラフルにプリントー京都北 コレクションー	子どもたちを対象にシルクスクリーンを活用した衣類へのプリント及び展示を行うことにより、将来の地域を担う子どもたちの創作意欲を高め、引き出す。
	市民講座 「虹の探求/多様な表現 を探るーロック、ブルース、フォークの源流 ア メリカ民衆の歌ー」	参加者とともに「フォークソング」の原点を見つめながら、人々の暮らしに音楽がどんな役割を担い、何をもたらしたかを探り、歌の文学性を考える。また貧困層、被差別民などマイノリティに寄り添った多様な音楽を知ることによって人権の意味を考える。
岡崎	レコード楽譜図書館Ⅶ	市民の方々に寄贈いただいた楽譜やレコードを使用し、市民企画によるレコードを聴く会を実施する。
	2017 春の岡崎セッション	岡崎の立地を活かし、岡崎を訪れる方と地元の方との交流の場として、センターの前庭で音楽ライブを行う。
	大学生連携事業「岡崎 ガーデン倶楽部プロジ ェクトⅢ」	大学生や利用者、地域住民と共にワークショップ形式でセンター周辺のランドスケープ（景観等）について考え、地域にとって居心地の良い空間を作る。 ①いきセン周辺の花壇手入れ ②植栽ワークショップ
	市民活動支援事業「チラ シレイアウト講座」	センター利用につなげるために利用している団体・サークルを対象として広報スキルの向上を図る。
	文化芸術交流・連携事業 「ロームで歌おう ポ ップス編・ゴスペル編」	合唱を通して参加者同士の交流を作るとともに、ロームシアター京都で市民が中心となり市民のためのコンサートを開催する。岡崎魅力づくり推進協議会と連携し、「京都岡崎ハレ舞台」のコラボ企画として実施する。 ①ポップス練習、②ゴスペル練習、③コンサート（本番）

岡崎	岡崎いきセン紹介月間	7月23日に開催する左京区民ふれあい祭りにおいて市民活動団体の活動紹介を行う。また8・9月をセンター利用団体の紹介月間とし、紹介チラシの作成や体験講座を開催することで、活動団体間の交流や市民活動への参加のきっかけづくりを行う。 ①左京区民ふれあい祭り ②紹介月間
	高齢者交流事業「中高年のためのピアノサロン」	地域の中高年を対象に、ピアノを通じた健康づくりや相互交流を促す。今年度は参加者の意識向上を促すため、ロームシアター京都での発表会を行う。 ①練習 ②発表会
	京の七夕 コミュニティステージ	岡崎全体で京の七夕を盛り上げるイベントの一環としてセンターでも、地域団体や利用者と連携し、音楽・パフォーマンスイベントを行う。
	岡崎歌声クラブ	地域の中高年を対象に、歌唱を通じた健康づくりや相互交流を促す。 ①練習 ②発表会
	岡崎ワールドミュージック工房	岡崎公園西側のまちづくりの活性化を目的として地域の各種団体と協力し、講演会やワークショップを開催する。 ①講演会 ②ワークショップ
	レコード楽譜図書館Ⅷ	市民の方々に寄贈いただいた楽譜やレコードを使用し、市民企画によるレコードを聴く会を実施する。
	大学学生連携事業「岡崎ガーデン倶楽部プロジェクトⅣ」	大学生や利用者、地域住民と共にワークショップ形式でセンター周辺のランドスケープ（景観等）について考え、地域にとって居心地の良い空間を作る。
	わいわい文化祭	自治連合会と共同して、歌や踊りの発表など地域の文化祭を実施することで、地域の輪を広げ、絆を深くする。今回は京都市国際交流会館で実施することにより他地域からの関心を誘い、岡崎地域の更なる発展に寄与する。
文化芸術交流・連携事業「必殺仕事激写人」	写真さ杖の基礎知識・技術についての講義を実施することによって、自己啓発や生きがいづくりに貢献し、地域の活性化を図る。	
左京東部	復活！錦林盆踊り大会 2017	以前は地域で大変な盛り上がりを見せていた盆踊りを、地域の高齢者や若い世代、ミュージシャン等が連携して盆踊り大会を復活させ、地域住民と参加者等との連携を深める。

左京東部	地域活動の担い手育成プロジェクト「盆踊り練習会とさきょーラ音楽会」	地域貢献型の地域楽団の育成を通じて、盆踊り大会など地域行事を支えるボランティアとして活躍してもらうことで、世代間交流の担い手づくりや、地域活動参加へのきっかけづくりを行う。 ①盆踊り練習会、②東部まち美化フェスタ、③音楽会「さきょーラ冬の文化祭」
	世代間交流と高齢者福祉をアートでつなぐプロジェクト	大谷大学の学生を交えて高齢者の方の思い出話を聞き取り、その内容を冊子や展示物にまとめ、左京東部いきいき市民活動センター、左京西部いきいき市民活動センター、大谷大学で展示する。また、美術、音楽、演劇といった芸術を使って、高齢者の健康維持に貢献する事例を紹介するシンポジウムを開催する。 ①展示会 ②シンポジウム
	芸術・文化を使って社会包摂を促進する事業	アートを用いて発達障害をはじめとした、障害を抱える人を支援する団体と協力し、障害者がアートを用いて社会とつながる活動事例を紹介する講演会を開催する。
左京西部	芸術・文化を使った高齢者向け事業活性化プログラム	過去6年間、当センターが独自に行ってきた認知・介護予防や高齢者と若い世代が交流促進に寄与する事業を客観的に検証し、その効果や可能性を探るとともに、そのような事業を行っている団体を紹介し、後押しする。
	ようせい夏まつり	以前は地域で大変な盛り上がりを見せていた夏祭りを、地域住民、近隣の学校、商店街等と連携して復活させ、地域住民と参加者等との連携を深める。
	先進的な高齢者向け事業の取り組み紹介とシンポジウム	高齢者向け事業の一環として、介護老人保健施設で働いている職員の方を招き、「回想法」にまつわるレクチャーとシンポジウムを開催する。
中京	あかしやふれあい盆踊り大会	盆踊りや施設利用者等の発表などを通して、地域と参加団体との交流・親睦を深め、各種団体の活動の活性化に繋げる。
	いきいきカフェ	高齢者ふれあいサロンを活用し、高齢者向けの体操・映画を上映することにより、主に高齢者が気軽に集え、交流する場を提供し、地域活性化に繋げる
	中京コレクション 秋のいきセン発表会	センター利用者や市民活動団体が日頃の活動の紹介や成果を披露する発表会を行うことで、団体支援や団体同士の意見交換や交流の場を創出する。
東山	メディアセンター事業	映像を通じて、まちのトレンドや課題など、東山の過去・現在・未来を可視化し、広く発信する。 ①特別講演 ②映像講座1回目 ③映像講座2回目 ④映像講座番外編（スマホ編）

東山	まちの担い手発掘・発信事業	地域に開かれたセンターづくりと、まちの新たな担い手創出と発掘を目的に、市民ひとりひとりが持つ知識や経験を発信し、社会課題を議論し、行動を起こす場を創設する。 ①みんなの学校ごっこ in 東山 2017, ②シネマフューチャーセッション
	東山データ可視化事業	東山の統計やヒアリングなどで得た情報を可視化し、それらを多角的にふんさきし、情報紙などの冊子にまとめ、自治会・町内会・各種地域団体などへ広く提供する。 ①調査, ②展示
下京	楽市・洛座春まつり	まちづくりの一環で復元された鉦の巡行を、地域の各種団体や近隣施設、ボランティア等と連携しながら実施することにより、地域の活性化を図る。
	ガーデニングを楽しもう	センター2階, 3階のバルコニーでガーデニングを実施し、花・緑あふれる施設づくり及び地域美化活動グループの養成を行う。
	楽市・洛座夏まつり	地域各種団体やセンター利用者による模擬店やフリーマーケット、演奏会など「夏まつり」を行うことにより、地域連携・交流を促進する。
	文化祭	市民活動団体や小学校、児童館、施設利用者等の活動成果や、地域のまちづくり活動の発表の場を作る。
吉祥院	夏休み六斎工作教室	地域の伝統芸能「六斎念仏」の保存継承を図るための取組を実施する。 ①六斎念仏の歴史に関する講座, 太鼓・笛などの実演, ②六斎念仏に関する工作教室
	第19回吉祥院ふれあいジャンボリー	地域団体が連携して実行委員会を作り、各種団体の活動発表やステージ、模擬店などを実施するフェスタを開催することにより、地域の交流やネットワークの構築を図る。
	オータムコンサート2017	地域の人々招いて催す音楽祭を開催することにより、地域の交流やネットワークの構築を図る。
	第5回ふれあいひろば	センター利用団体等が日々の取組や活動を発表する展示ブースやステージ公演、ワークショップ等を実施することで、団体同士の交流を図り、活動の幅を広げる。
上鳥羽北部	上鳥羽ミュージックサロン	音楽を聴きながら、参加者が音楽や地域のことなどを自由に語り合える場を提供することにより、参加者同士の交流や輪を広げ、今後の活動のきっかけづくりに繋げるとともに、センターの認知度も高める。
	いきいき絵本クラブ	絵本を通じて参加者同士が交流を深める場を創出するとともに、児童館や保育園などで絵本の読み聞かせ会パネルシアターの上映を行うなど、参加者の活動の場を広げる。

上鳥羽北部	いきいきエコ講座 第3弾	地域を巻き込みながらエコ意識を高め、人と人を繋げる事業を実施する。 ①おひさま発電所1周年記念イベント、②グリーンカーテンコンテスト、③クールシェアスポット、④エコさんぽ
	上鳥羽夏の夜市	地域の各種団体が連携し、模擬店や各種行事を行うことで、住民相互の交流の場を作り、近隣住民を巻き込んだ活性化を目指す。
	いきいき上鳥羽プロジェクト	地域の各種団体と連携し、各種行事を行うことで、子どもから大人まで幅広い世代の交流の場を作り、地域の活性化を目指す。また年2回ニュースレターを発行する。 ①鯖寿司作りの会②もちつき大会 ③安全見守りストラップ作りの会
	ハッピークリスマスの集い	センターを利用している団体やサークルと児童館を利用している親子連れや児童との交流を広げ、出合いやつながりの場を創出する。
	上鳥羽春まちフェスタ	上鳥羽南部いきセンと合同で、上鳥羽地域の活性化を目指した地域交流イベントを行うことで、各センターの認知度も高める。
上鳥羽南部	上鳥羽春の地域交流フェスティバル	地域団体、利用団体、大学等、地域が一体となって連携し、上鳥羽地域の活性化を目指した交流フェスティバルを行うことで、センターの認知度も高める。
	いきいき夏祭り	利用団体、地域団体等の発表や模擬店、盆踊りなど、夏祭りを実施することにより、地域の交流の輪を広げ、地域コミュニティの活性化を図る。
	上鳥羽南部 秋のサークル交流会	日頃センターを利用しているサークルや団体の発表会を行うことで、利用団体同士の交流やセンターの周知に繋げる。
	オータムミニコンサート&山ノ本児童館まつり	山ノ本児童館、近隣の保育所・中学校等と連携し、利用者や地域住民との交流を図るミニコンサートを開催する。
	フラワーアレンジメント&楽気(らっきー)クリスマス会	地域の活性化や交流の輪を広げるため、児童館や大学生と連携したクリスマス会や、センター利用団体によるフラワーアレンジメント体験講座等を開催する。
	上鳥羽南部ふれあいサロン WAIWAI 広場	高齢者ふれあいサロンで落語やマジックなど子どもから大人まで楽しめる事業を実施することにより、サロンの認知度を高め利用を促進するとともに、多世代交流に繋げる。
	上鳥羽春まちフェスタ	上鳥羽北部いきセンと合同で、上鳥羽地域の活性化を目指した地域交流イベントを行うことで、各センターの認知度も高める。

久世	いきセン利用者発表会	日頃センターを利用しているサークルや団体の発表会を行うことで、利用団体と地域との交流やセンターの周知に繋げる。 ①ストレッチ体操体験講座, ②民謡・踊り発表会
	いきいきサマーフェスタ (ワークショップ)	児童館と連携して、サマーフェスタを開催することで、地域交流・活性化に繋げるとともに、参加する親子同士の交流・親睦を深める。 ①まめこちゃんクラブ (おんぶ講座), ②オリジナルポットをつくろう
	クリスマス会	保育所や児童館と連携し、地域住民や利用者との交流・親睦を深め、センターの周知に繋げるため、クリスマス会を開催する。
	いきセン祭り	センター利用団体が実行委員となり、作品展示や体験講座、もちつき大会等を実施することで、利用団体の活動支援や交流・親睦に繋げる。
	ふれあいサロン祭り	高齢者ふれあいサロンで伝統芸能やマジックなど子どもから大人まで楽しめる事業を実施することにより、サロンの認知度を高め利用を促進するとともに、多世代交流に繋げる。
醍醐	だいが生き活プロジェクト	「だいがサロン」の参加者から成る「だいが生き活プロジェクト」と連携し、地域に密着した「安心・安全マップ」の作成を通じて、地域コミュニティを考えるきっかけづくりを行う。
	カフェするところ	高齢者ふれあいサロンを活用し、市民主体の様々なジャンルのカフェを開くことで、サロンを多世代交流の拠点とし、地域活性化に繋げる。 ①だいが de オレンジカフェ, ②だいが de しょ〜もなカフェ
	わたしたちの第一歩	「地域で何かを始めたい・やってみたい」という方たちが、自ら事業を計画し実践する場を提供することで、地域活動への意識を高めてもらう。 ①だいがスケッチクラブ ②地域フィールドワークプロジェクト ③だいがひょうたんクラブ ④夏の手作り体験 ⑤演劇ワークショップ ⑥キラキラ陶芸クラブ ⑦冬の手作り体験
	生き活きだいがプロジェクト	醍醐支所や包括支援センター、介護予防推進センター等と連携し、脳トレやまち歩き、体操など介護予防や健康維持を目的とした事業を実施する。 ①天神さんで笑いヨガ ②和室 de ピンポン ③だいがトレジャーハンターVol.7
	だいがいきいきフェスティバル	センターを利用しているサークルや団体の発表会や作品展示を行うことで、利用団体と地域との交流やセンターの周知に繋げる。

伏見	市民活動の情報発信事業	市民活動団体の情報収集・発信力を高めるため、センター内の情報発信コーナーの拡充や冊子作成などを行い、活動が更に発展するための整備を行う。
	シニアの居場所づくり事業	市民グループや大学生と連携しながら「シニアの居場所づくり」を実施する。 ①参加者が主催して実施する「〇〇さんの日プログラム」、②アクティブなシニア活動を生み出すための「きょういく基地スクール」③お庭の達人プロジェクト
	子ども居場所づくり事業	市民活動団体や学生、中学校等と連携し、地域課題の一つである「子どもの居場所づくり」を行う。 ①伏見・竹田に愛着をもってもらえるような地域資源を活用したプロジェクト、②学習支援やこどもの貧困問題に関心のある地域の方や団体の交流を提供、③大学生と連携した自習室
	若者の市民活動推進事業	若者層の市民活動への積極的な参加を促進する事業を実施する。 ①伏見留学ボランティア、②伏見しみん大学、③若者の市民活動伴走サポート